Creative Enzymes®

ネイティブ馬 γ-グルタミルトランスペプチダーゼ

Cat. No. NATE-0791

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	γ-グルタミルトランスフェラーゼは、ガンマ-グルタミル官能基を転送する酵素です。これは多くの組織に存在し、最も注目すべきは肝臓であり、診断マーカーとして医学的に重要です。GGTは、グルタチオンのガンマ-グルタミル部分をアミノ酸、ペプチド、または水（グルタミン酸を形成）に転送する反□を触媒します。GGTは、グルタチオンの合成と分解、□物および外因性物質の解毒のための□路であるガンマ-グルタミルサイクルにおいて重要な役割を果たします。他の証□は、GGTが細胞内のシグナル伝達や細胞の病理生理学においてさまざまなレベルで調節効果を持つプロオキシダントの役割を果たすことも示しています。
別名	EC 2.3.2.2; グルタミルトランスペプチダーゼ; α-グルタミルトランスペプチダーゼ; γ-グルタミルペプチジルトランスフェラーゼ; γ-グルタミルトランスペプチダーゼ (あいまい); γ-GPT; γ-GT; γ-GTP; L-γ-グルタミルトランスペプチダーゼ; L-γ-グルタミルトランスフェラーゼ; L-グルタミルトランスフェラーゼ; GGT (あいまい); γ-グルタミルトランスペプチダーゼ (あいまい); γ-グルタミルトランスフェラーゼ; 9046-27-9; GGTP

製品情報

種	馬の
由来	馬の腎臓
EC番号	EC 2.3.2.2
CAS登□番号	9046-27-9
活性	5-12 ユニット/mg 固体
単位定義	1ユニットは、25°CでpH 8.5の条件下でL-γ-グルタミル-p-ニトロアニリドから1.0 μmoleのp-ニトロアニリンを1分あたり放出します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C